



全村博物館構想は、身の周りにある良いものをみんなで一緒に探して、学んで、この村で楽しくやっという活動です。

雪が降り積もった次の日、風で舞い上がる風花。(智里西)

【発行・問合せ】

阿智村役場 協働活動推進課
全村博物館構想事務局
TEL0265-43-2220 FAX43-2351
achi.zenshonhaku@gmail.com

2023年2月20日

新型コロナウイルス感染症の感染状況により、学習会・イベント等を中止する場合があります。詳細は村の無線放送やCATV、全村博のHP・SNSをご確認ください。

社教研 自然歴史文化分科会の報告

① 1/18 学習会「阿智村の自然を活かした取組み報告」

阿智村の自然に関わって取組みをしている2つの団体に話を聞きました。

「NPO法人あち森」は阿智村の森林整備や薪販売に、メンバーが楽しみながら生きがいをもって活動していることを紹介しました。「小学生向けの間伐体験や大人向けのチェーンソー講座をやっている。阿智村の山に手を入れる仲間を増やしたい」と話しました。

せいの森キャンプ場は「Leave No Trace」という環境へのインパクトを最小減にするプログラムを取り入れ、来場者にも環境負荷の少ないキャンプを提案していることを紹介しました。「昔からの里山生活が再注目されている。そうした暮らしを次の世代に受け継いでいきたい」と話しました。



② 2/12 「屋根ある博物館の取組み報告」

村内にあるギャラリーや博物館、6館がコンセプトや展示内容を報告しました。

清内路にあるGalleryA&JMは「人が交流する場所となり、地域活性をしたいと考えて始めた。地域に残る技術や職人の技術を紹介している」と報告しました。参加者からは「一ヶ所しか行ったことがなく、知らないところもあった。どう村民に知らせたらいいのか。」「CATVなどで知らせてほしい」といった意見がありました。報告者からは「民間で小さくやっているの、告知の難しさがある。行政とも連携できたら。」との意見がありました。



あちの人紹介

柘植幹雄さん (72歳)
阿智村の古文書と人に出会って

柘植さんは古文書調査のために一年間駒場・市の沢に住み、この3月末に宮崎県へ帰ります。

退職後に「古文書」に出会ってその魅力にはまり、宮崎県立図書館で古文書に関する仕事に携わっています。江戸時代の地方の文書を読んでみたいと、学生時代を過ごした長野県内の調査地を探していたそうです。たまたま全村博HPの「古文書サークル始めます」という記事を見つけたことがきっかけで、宮崎での仕事を一時的に休んで来村しました。

柘植さんは1年間で1,000以上の村内古文書を撮影し、内容を調査しました。村には40年前に村誌を作る際に調査した古文書の目録があります。柘植さんはこの目録にない古文書の撮影と整理・解読、古文書検索システムの研究を進めてきました。



講座の様子。実際の整理方法も教わりました。

『古文書の魅力は、読んで歴史と結びついた時。歴史的な事実との関係が分かった時がおもしろい』

また、全く初めての人でも古文書が読めるようにと初心者向けの勉強会なども開きました。

柘植さんは『阿智村の人は道ばたで出会った知らない人でも話をしてくれ、受け入れてくれた。勉強家が多く、歴史に興味がある人も多いと感じた。私が講座を開催させてもらえたように、自分達が自主的に研究している事を、村の人達と共有できる勉強の場やサポートしてくれる仕組みがある事が素晴らしいと思う』と話します。

報告会「心に残る村の古文書と村での一年」

今回、柘植さんが調査を通して心に残った村の古文書や、阿智村に住んで感じたことなどをお話しする報告会を開催します。多くの方のご参加をお待ちしています。

- ・日時 3月13日(月)午後7時～ * 参加無料
- ・場所 阿智村中央公民館ホール * 申込不要

◎企画展「あちのさくら展」

観覧無料

村内外から寄せられた、桜をテーマにした美術作品を展示するとともに、桜の歴史と、阿智村各地にある桜を紹介します。



「六道の桜」
伍和・原の平

- ・日程 3月18日(土)～5月21日(日)
* 火曜休館、駒つなぎの桜開花中は無休
- ・時間 午前9時30分～午後4時30分

ワンシチー
◎王希奇「一九四六」展

中国人画家・王希奇氏が日本人の満州引揚げを描いた絵画「一九四六」を展示します。縦3m×横20mの大作です。日本への引揚げ港・葫蘆島(ころとう)に着岸した船に向かって歩く群衆の姿が描かれています。「一人ひとりの心の声を記憶に残したい」と挑んだ作品をご覧ください。

- ・日程 3月21日(火)～3月26日(日)
- ・時間 午前9時30分～午後4時30分
- ・入館料 村民：一般300円、小中高生150円

彩り季節風伍和-GOKA- in飯田市美術博物館

◎写真展

「写真教室グループ展-PART VI-」

「彩り季節風伍和-GOKA-」を主宰する写真家、杉本恭子氏が講師を務める、写真教室の展示会です。今回は29名が発表します。

- ・日程 3月7日(火)～3月12日(日) **観覧無料**
- ・時間 午前9時30分～午後5時
* 3月7日は午後1時から、最終12日は午後4時まで。
- ・場所 飯田市美術博物館 市民ギャラリー

阿智村地域おこし協力隊・集落支援員
活動報告会を開催します！

都会から移住して活動している地域おこし協力隊と、空き家や農地、地域資源の活用に取り組む集落支援員が報告します。報告を通じ、村の課題や今後の地域づくりについて考えます。

- ・日時 3月18日(土)
午前10時～ 地域おこし協力隊3名
午後1時30分～ 集落支援員6組
- ・場所 阿智村コミュニティ館2階ホール
- ・内容 地域おこし協力隊・集落支援員による1年間の活動報告

中馬ぬくもり街道ひな祭り

西部地区～飯田市の各所でひな人形を展示する『中馬ぬくもり街道ひな祭り』が今年も行われます。地域の人たちが中心となって実施し17年目となりました。期間は3月1日～4月2日(屋神温泉2月～)です。

【駒場地区】

- ・3月4,5日(土,日) こまんばマルシェ
- ・3月11日(土) ミニコンサート
- ・3月25日(土) こまんば着物デー お抹茶体験

詳しくは
全村博HP
で！

今年は上町の『ぼくらの郵便電話資料館』から貴重な資料をお借りしてつぼや2階に展示します。ぜひつぼやにお立ち寄りください。

古民家つぼや2階ギャラリー

- ・日時 毎週金～月曜日、9:30～15:30
- ・内容 郵便・電話資料、地元作家作品展示



上町の長谷川昭子さん(80歳)は、『子ども達が来た時に喜んでくれるかと思って』と、カラフルなコマを用意しています。1つに両面色がついた紙を3枚使うこのコマは、夫の利夫さんが習ってきました。『ぜひ子ども達にあげたい』と作り方を教わり、1週間かけて80個のコマを作ったそうです。玄関には今年も華やかなひな祭りの飾りがたくさん展示されています。

食堂きたせんと北原とし子さん(67歳)は、店内に様々なひな人形を展示しています。『きたせんとをイメージ』したコーナーでは、手作りのエプロンや手ぬぐいをかぶったひな人形が宴を楽しむお客さんに食事を振る舞っています。



他にも各所に展示されているので、パンフレットやHPを参考にお寄り下さい♪

